

男性のための男女共同参画入門

～ともに働く時代に男性が知っておくべきこと～

女性の社会進出が提唱され、そのための職場環境整備も進み多様な人材を適材適所に配するダイバーシティ経営の時代となっている。その一方、女性技術者の出産後離職率はまだ高く、育児休業後の復職にも多くの課題が残されているのが現状である。男女共同参画推進により制度面では整備が進められているものの、運用面でのハウツーは乏しく各企業や部署にて手探り状態であると言える。女性技術者の活躍をいかに支援したらよいか、電気分野の管理職の多くの男性には興味ある問題であろう。また、工学系の大学・高专などにおいても、女性技術者の育成の取り組みが盛んになりつつあるが、女子学生に対するキャリア教育の充実などが重要な課題になっている。本シンポジウムでは、ダイバーシティ活用の一端として女性技術者の活躍支援に関する講演と、パネルディスカッションを企画することにより、男女共同参画の推進の一助となることを目指している。

日時：2014年3月20日(木)
9:00~12:00

会場：愛媛大学
城北キャンパス 共通教育講義棟 講義室34

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 9:00~9:10 | 男性が女性活躍促進の時代の波に乗り遅れないために
奈良工業高等専門学校 電気工学科 教授 藤田 直幸氏 |
| 9:10~9:45 | 男女共同参画社会の実現を目指して
国立女性教育会館 理事長 内海 房子氏 |
| 9:45~10:20 | 男性にとっての男女共同参画 - 男性学・男性性研究の視点から -
京都大学 文学研究科 教授 伊藤 公雄氏 |
| 10:20~10:45 | 女性が働き続けるための課題 - 女性技術者の場合 -
育休後コンサルタント 山口 理栄氏 |
| 10:45~11:10 | 活躍する女性技術者を育成するために - これだけ違う、男女のキャリア形成 -
香川高等専門学校 一般教育科 教授 内田 由理子氏 |
| 11:10~11:20 | 休憩 |
| 11:20~12:00 | パネルディスカッション
「男女共同参画時代 男性に期待されること」 |

未来の女性エンジニアを育てよう！～女子学生なんでも相談ランチミーティング～

12:15~13:30 愛媛大学 校友会館 2F サロン 女性技術者・研究者と女子学生の交流会を企画しました。軽食も用意します。是非ご参加ください。

事前申し込み： <http://www.iee.or.jp/gender/> より 3月13日(木)までにお申し込みください。



お問い合わせ

電気学会男女共同参画推進委員会 事務局
E-mail: event@iee.or.jp / TEL: 03-3221-7313

協賛：愛媛大学 ダイバーシティ推進本部 女性未来育成センター
後援：内閣府 男女共同参画局、松山市男女共同参画推進センター、独立行政法人 国立女性教育会館 男女共同参画学協会連絡会、えひめ女性財団、日本工学教育協会（申請中を含む）

参加費無料

電気学会全国大会本部企画シンポジウムのため
会員以外の方も無料で参加できます。



講演者プロフィール

男女共同参画社会の実現を目指して

国立女性教育会館 理事長 内海 房子氏

〈講演概要〉

日本における女性の活躍状況について詳説するとともに、日本が未だ「女性の社会参加」から「男女共同参画社会」へ移行できていないこと、この状況を脱するには男性がこの問題を自分のこととしてとらえ、女性と共に力を合わせて取り組むことが重要と説く。

〈略歴〉

津田塾大学数学科卒業後、NEC入社。基本ソフトウェア開発に従事し、1987年技術課長。1989年に人事部に転じ、全社の女性活用を手がける。以後、人事・勤労・人材育成の仕事に従事。研究開発事務本部勤労部長、事務本部長などを経て、2001年にはNECソフト株式会社執行役員、2005年にNECラーニング株式会社社長に就任。2011年より現職。
著書に『私は、人事課長一年生』、『もっと素敵にワーキングライフ』がある。

男性にとっての男女共同参画—男性学・男性性研究の視点から—

京都大学 文学研究科 教授 伊藤 公雄氏

〈講演概要〉

男性学・男性性研究とは？「女性」というジェンダー研究が進むなか、1970年代後半になって、「もうひとつのジェンダー」である男性学・男性性研究が本格的に登場した。これまでのジェンダー研究の歴史を振り返り、これからの日本のジェンダーについて考える。

〈略歴〉

京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。大阪大学人間科学部教授を経て、2005年より現職。

日本スポーツ社会学会会長、関西社会学会会長、日本ジェンダー学会会長、内閣府男女共同参画会議基本問題専門調査会委員、同・女性に対する暴力専門委員会委員、国連人口基金東京事務所アドバイザー・コミッテイ委員、大阪府男女共同参画審議会会長代理などを務める。

著書に『ジェンダーの社会学』、『「男女共同参画」が問いかけるもの』、『「男らしさ」という神話』、『「できない男」から「できる男」、『男性学入門』、『<男らしさ>のゆくえ—男性文化の文化社会学』、『光の帝国／迷宮の革命—鏡の中のイタリア』などがある。

女性が働き続けるための課題—女性技術者の場合—

育休後コンサルタント 山口 理栄氏

〈講演概要〉

政府の成長戦略の一貫として女性の活躍が期待されている。しかし企業における女性技術者は人数が少なく、活躍も十分とはいえない。本発表では女性技術者の育成に関する現状の問題点と効果的な取組みについて報告する。

〈略歴〉

筑波大学情報学類卒業、総合電機メーカー入社。基幹系ソフトウェア製品の開発・設計・企画に従事。2006年から2年間社内での女性活躍推進プロジェクトのリーダーを務め、2010年に育休後コンサルタントとして独立。

日本女性技術者フォーラム運営委員、昭和女子大学現代ビジネス研究所研究員を務める。

著書に『さあ、育休後からはじめよう～働くママへの応援歌～』がある。

活躍する女性技術者を育成するために—これだけ違う、男女のキャリア形成—

国立高等専門学校機構 香川高等専門学校
一般教育科 教授 内田 由理子氏

〈講演概要〉

工学系高等教育機関において、社会で活躍する女性技術者を育成するために、今、何ができるのか。高専を卒業した男女約1600名の調査回答を基に、成功している女性技術者達をモデルに、キャリア形成に有効なポイントを講演の焦点とする。

〈略歴〉

岡山大学大学院社会科教育修了、詫間電波高専助手を経て、2012年より現職。就実大学非常勤講師、国立高等専門学校機構男女共同参画推進室併任教授、NPOアカデミックハラスメント防止ネットワーク理事、NPO全国スクールセクシュアルハラスメント防止ネットワーク副理事を務める。

著書に『スクール・セクシュアル・ハラスメント—問一答』(共著)、『新通史日本の科学技術第3巻 ジェンダーと市民活動』(共著)がある。

男性が女性活躍促進の時代の波に乗り遅れないために

国立高等専門学校機構 奈良工業高等専門学校
電気工学科 教授 藤田直幸氏

〈講演概要〉

今回のシンポジウム「男性のための男女共同参画入門 ～ともに働く時代に男性が知っておくべきこと～」企画立案者として、シンポジウムの背景や狙いについてお話しする。

〈略歴〉

豊橋技術科学大学大学院修士課程修了、松下電器産業入社、大阪府立高専講師、助教授、奈良高専電気工学科准教授を経て、2008年より現職。国立高等専門学校機構男女共同参画推進室併任教授、同教育研究調査室併任教授、豊橋技術科学大学客員教授、電気学会男女共同参画推進委員、同調査専門委員、表面技術協会理事、日本磁気学会企画委員、日本高専学会編集委員などを務める。

著書に『ナノ構造磁性体』(共著)、『次世代めっき技術』(共著)がある。

パネルディスカッション

「男女共同参画時代 男性に期待されること」

【パネリスト】

愛媛大学 女性未来育成センター 准教授

郡司島 宏美氏

国立女性教育会館 理事長

内海 房子氏

京都大学 文学研究科 教授

伊藤 公雄氏

育休後コンサルタント

山口 理栄氏

国立高等専門学校機構 香川高等専門学校 一般教育科 教授

内田 由理子氏

東京電機大学 未来科学部 教授 / 電気学会男女共同参画推進委員会 委員長

花崎 泉氏

【司会】

国立高等専門学校機構 奈良工業高等専門学校 電気工学科 教授

藤田 直幸氏